

学校だより

【第3号】令和3年11月19日発行

ガチ かける GACH i 高校生 × 県議会議員

<群馬県立しらがね特別支援学校（通信）>

11月15日（月）に県議会を身近に感じ、政治への関心を高めることができるよう、県議会議員が本校を訪問し、GACH i 高校生×県議会議員を実施しました。まずは、基本的な学習として、議員から議員の仕事や県の政治などについての説明後、仕事や政治におけるクイズを〇×形式で行いました。その後、ガチ意見交換と題し、生徒からの質問や意見に議員が回答するメインの学習を行いました。生徒は、「消費税は上がりますか」「学校周辺の交通機関が増えるとよい」「自動販売機を設置してほしい」など、事前に考えた質問や意見を挙手をして積極的に発言し、活発に意見交換をすることができました。終了後には、「質問に答えてくれて嬉しかった」「政治の意味が分かってよかった」「投票をしようと思った」「生徒会で話し合っってよりよい学校になるようにしたい」「時間があればもっと質問したかった」等の感想があがりました。



性・エイズ講演会

11月9日（火）に性・エイズ講演会が行われました。講師には、元埼玉県立特別支援学校養護教諭の田中紀子先生をお招きしました。

高等部は「一人ひとりを大切にできることとからだの学習ってなんだろう～素敵な大人になるために～」をテーマに、二次性徴や「性差」「個人差」による意識の違い、コミュニケーションの取り方等について、ゲームやインタビューを交えて楽しく学習しました。生徒の振り返り用紙には、プライベートゾーンやパーソナルスペースについて理解を深めたなどの感想が記入されました。「素敵な大人になるために、がんばること」については「コミュニケーションをがんばる」「友達と仲良くする」「人と人との距離に気をつける」「SNSに自分の体を載せない」「自分の体を大切にすること」等の記入がありました。

中学部は「大切なわたしとあなた」をテーマに、講師の田中先生との対話をおして、自分自身のこと、仲間の気持ち（こころ）とからだ（二次性徴）、多様な性と生き方について学習しました。恥ずかしくて手で顔を覆ってしまう場面も見られましたが、終始笑顔で学習できました。振り返り用紙には、「今後に活かしたいこと」として、「人との距離に気をつける」「仲間と生きる大切さ」「人間関係をがんばる」等の記入がありました。



藤岡北高校との交流

11月2日（火）藤岡北高校（ヒューマン・サービス科園芸福祉コース19名）と作業学習を通して交流を行いました。校長先生からの「みんな同じ高校生。多様性を感じてほしい」とのエールを胸に藤岡北生は農耕、縫製、紙工、木工、窯業、軽作業の6グループに分かれて作業をしました。本校の生徒が作業の仕方を教えながら、農耕班では本校の生徒が一生懸命育てたサツマイモと一緒に掘りました。縫製班では機織りやあずま袋作り、紙工班ではしおり、木工班ではコースター作りに取り組みました。また、窯業班ではお皿を、軽作業班では張り子を一緒に作りました。藤岡北高校の生徒さんには一緒に作った製品や収穫物をお持ち帰りいただきました。「素敵な製品ばかりですごいと思った」「一緒に作業ができて嬉しかった」などの感想がありました。また、本校の生徒からは「楽しかった」「教えるのは難しかったけれど、頑張れた」との感想がありました。コロナ禍で交流できず2年ぶりだったため、双方の生徒がとてもこの時間を楽しみにしていました。親交を深められ充実した時間を過ごすことができました。

農耕班



縫製班



紙工班



木工班



窯業班



軽作業班



中学部 おまつり

1学期に実施した中学部七夕祭りを受けて、もう一度お客様を招待して祭をしたいという生徒達の願いから、9月には中学部秋祭りの計画、準備、開催の学習をしました。

まず3グループに分かれて相談し、それぞれ「お面屋&ヨーヨーすくい屋」「わなげ屋&金魚すくい屋」「的当て屋&ボウリング屋」を開くことになりました。店が決まってから、使用する道具や看板などを作りました。作成の途中で、各グループの進行状況を発表しあう場面もありました。

祭の当日は、はっぴを着た店担当の生徒がお客さんをもてなしました。校長先生をはじめ、たくさんのお客さんが来場し「いらっしゃいませ」「こちらにどうぞ」「終わった方にはスタンプを押します。」「ありがとうございました。」などと元気な言葉が飛び交っていました。生徒達もお客さんも一緒になって楽しめた秋祭りになりました。



中学部 持久走記録会

11月4日(木)に、中学部持久走記録会が行われました。当日は天気にも恵まれ、すっきりと晴れた青空の中、男子1500m、女子1000m、ウォーキングの3つの部門に分かれて行いました。記録会に向けて、1学期は10分間走り続けることを目標に、2学期は一定のペースで走り続けることを目標に一人一人が頑張ってきました。記録会当日は、いつもと異なる雰囲気緊張している姿が見られましたが、校長先生や教頭先生をはじめ、たくさんの声援を受け、全ての生徒がゴールテープを切ることができました。積み重ねてきた努力が成果として現れ、生徒たちは喜びの笑顔でいっぱいでした。また、印象的だったのが、ゴールを目指して一生懸命走るだけでなく、先にゴールした生徒が「がんばれー!」「あともう少し!!」などと、友達を応援する姿がたくさん見られたことです。走り終わった後にも「がんばったね」とお互いをたたえ合う言葉も聞かれ、この記録会を通じ、友達同士のつながりも強まりました。

